

庄司 紘八

よねしろ会

能代港中島5千トン岸壁の水深

【問】中島岸壁が浅くなり、3千トン級の船も接岸できないのでは、港としての機能に不安を感じる。水深調査をして重要港湾としての機能回復を管理者の国、県に要望してほしい。

【答】水深確認には実測による水深測量と船のソナーを使った方法があり、港湾管理者の秋田県では、現在、不定期ではあるが船のソナーを使った水深確認を行い、船舶の航行に支障を来さぬよう対応していると伺っている。常に安全航行が確保されるよう、実測やしゅんせつ等の適切な措置がとられるよう要望したい。

「歴史の里檜山」の今後の進め方

【問】檜山地域拠点施設「崇徳館」が完成し、歴史のまちとして檜山安東氏城館跡や多賀谷氏居館跡等の整備について、歴史に携わる方々などの意見も踏まえて方向性を示してほしい。

【答】歴史の里づくりの今後の進め方については、「崇徳館」の利活用計画も踏まえ、檜山安東氏城館跡や多賀谷氏居館跡の整備の方向性、地域の観光振興等を含め検討し、過去に策定した檜山地域まちづくり基本計画を見直したい。

その他の質問事項

- 行政処理のスピード感
- 「チャレンジデー」参加

畠 貞一郎

市民連合

議事堂の方針転換

【問】市は議事堂の原則解体から減築という大きな方針転換を表明したが、それであるならば、市民に詳細について説明する責任があるのではないか。

【答】これまで市庁舎整備に係る検討状況等については、その都度、広報で市民に周知し、意見をいただいている。今回は、さまざまな市民の意見、市内外から提出された要望書や署名簿、議会の意見等を総合的に検討した最終方針を、まずもって議会に説明し、諮るものであり、この後、広報を通じて市民に説明をしていく。

イオンと道の駅

【問】道の駅はイオン出店の動向で大きな影響を受ける。2015年に本当に出店するのであれば、資金等を含め、道の駅自体を全てイオンに任せるべきではないか。

【答】能代市道の駅整備構想研究会で研究を重ね、道の駅整備に係る基本的な方針（素案）の取りまとめに際し、イオンについて出店内容を十分に検証するなど、関係を整理して進める必要があるとした。今後、出店内容の把握も含め、情報交換の機会を持ちながら、本市にとって望ましい方向を探っていく。

その他の質問事項

- 庁舎の木造化
- イオンと中心市街地活性化

安岡 明雄

市民の声

地域コミュニティーの象徴である役七夕

【問】まちづくり政策の影響などさまざまな原因で役七夕運行が危ぶまれている。市長の「支援方法を見直したい」を踏まえ、具体的支援をいつ、どのようにするか。早期に示すべきだ。

【答】五町組との意見交換会では、少子高齢化が進み、厳しい経済状況の中で5年に一度の役七夕運行は、財政や後継者問題等の課題を抱え、苦勞していると伺っている。役七夕を引き続き守り育てていくため、来年度予算に向け支援のあり方を検討しているほか、製作技術の継承や保管庫についても一緒に検討したい。

「市民参加のはしご8段階」手法の活用を

【問】市の方針が、市民の力が生きる参加型か、形式だけか。8段階で分類し、市民参加度ははかる有効な手法だ。これをもとに市民と行政との合意形成の状況を検証する必要がある。

【答】各種計画の策定等で懇談会やワークショップ、説明会やパブリックコメント等を行い、広く市民の参画を図っている。「住民参加のはしご8段階」は、住民参加の度合いの目安として用いられており、市民と行政が協働でまちづくりを進めていく上で、こうした視点を持つことは非常に大切であり、参考にしたい。

その他の質問事項

- 教育連携で豊島区が教育に学ぶべきもの
- 財政の情報開示を進めていく課題